

北海道地域福祉学会ニュース NO.33

2009. 2. 23

北海道地域福祉学会事務局(北海道社会福祉協議会地域福祉部)

定例研究会開催のご案内

今年度の定例研究会は3月9日(月)、道民活動センターかでの2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)にて「公・民」協働による地域福祉活動計画の策定と地域福祉推進体系づくりについて、そして、「コミュニティソーシャルワーカー配置事業の取り組みについて」と題して、北海道社会福祉協議会地域福祉部地域福祉課主査町田一也氏と三浦貴友氏から研究報告をいただき開催します。

ここでは、地域の協働による地域福祉活動を積極的に展開している大阪府内の阪南市及び豊中市社会福祉協議会の取り組みの現地調査をもとに、地域福祉計画の推進と社協活動計画の連携、校区社協を基礎にした小地域福祉活動とコミュニティソーシャルワーカーの配置事業について報告を行い、地域住民との懇談や社協職員の実践的活動、そして、地域住民・行政との協働・連携のあり方について考察します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。詳細につきましては、同封いたしました別紙開催要綱をご参照ください。

○学会費の納入のお願いについて

前回の学会ニュースNo. 32において、本年度及び過年度の会費請求書を同封させて頂いております。まだ納入されていない方で3年以上の学会費未納者につきましては、退会の手続きをさせて頂く場合もございますので、今一度、学会費納入状況をご確認くださいませようお願い致します。

北海道地域福祉研究の投稿募集について

2008年度北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究 第12巻」の投稿を募集しております。

各会員の皆様が普段実践されています地域福祉活動を発表する絶好の機会です。投稿を希望される方は2009年2月27日(金)までに事務局までご連絡ください。事務局より改めてご連絡させていただきます。

なお、原稿締切は2009年3月13日(金)必着となっておりますので、投稿規程をご一読の上、投稿くださいますようお願い致します。

詳細につきましては、次頁の投稿規程をご覧ください。多数のご応募をお待ちしております。

掲載記事について

本学会では学会ニュースに掲載する記事を随時募集しています。会員・非会員を問わず書籍・報告書等まとめられた方、最近の活動内容の紹介や研究の報告等がございましたら、掲載いたしたく存じますので、お知らせください。

○住所変更について

会員の方で所属先や自宅の住所・電話番号の変更、学会ニュースなどの送付先に変更がありましたら、ご面倒でも事務局までご連絡ください。

～北海道地域福祉学会事務局～

北海道社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課(担当:三浦)

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター内

TEL (011) 241-3976 FAX (011) 251-3971

E-mail t.miura@dosityakyo.or.jp

「北海道地域福祉研究」の投稿を募集します!!

2008年度北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究第12巻」の投稿を募集します。
投稿を希望される方は、2009年2月27日（金）迄事務局宛ご連絡ください。また、
投稿される方は、下記の投稿規程を基に2009年3月13日（金）迄【当日消印有効】に
事務局宛原稿をお送りくださいますようお願い致します。

◆北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究」編集・投稿規程◆

1. 本誌は、北海道地域福祉学会の機関誌であって、年1回発行する。
2. 本誌は、原則として会員の地域福祉関係の研究発表にあてる。
3. 本誌は、論文、研究ノート、実践レポート、資料、書評、その他の欄を設ける。
4. 本誌の編集は、編集委員会によって行われ、原稿の掲載は編集委員会が決定する。
5. 掲載する原稿には投稿原稿と編集委員会からの依頼原稿がある。
6. 投稿者（複数の著者がいる場合は筆頭著者）は、本会員でなければならない。
7. 投稿論文は査読に基づく審査により、編集委員会が採否を決定する。
8. 原稿は別途定める執筆要項に従うものとする。
9. 執筆要項に定められた字数等の制限を超えた場合には、審査の有無に関わらず編集委員会から修正を求めることができる。
10. 投稿者は、編集委員会事務局に原稿のコピーを2部送付するものとする。投稿原稿は、原則として返却しない。
11. 著者校正は、1回とする。
12. 掲載論文については、掲載誌2部を進呈するが、切り刷り（別刷り）を希望する場合は、執筆者の実費負担とする。

～投稿に関するお問い合わせ先～ 北海道地域福祉学会事務局

北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内（担当：三浦）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター内

TEL (011)241-3976 FAX (011)251-3971

E-mail t.miura@dosyakyo.or.jp

～最近の掲載内容紹介～

2007 年度

論文

1. 『「現場」での「ジレンマ体験」を通じた社会福祉士のアイデンティティ形成プロセス
－「独立型社会福祉士」に着目して－』
小川幸裕氏（弘前学院大学社会福祉科）
2. 『市町村地域福祉計画における「住民参加」の課題に関する一考察』
小沼春日氏（藤女子大学人間生活学部）
3. 『総合相談支援業務の現状と課題－北海道における地域包括支援センターの活動実態調査から－』
若狭重克氏（藤女子大学人間生活学部）
4. 『高齢者の学習活動とソーシャルワークの統合に向けての実践的研究－札幌市北老人福祉センターの実践から－』
高橋賢充氏（札幌市北老人福祉センター施設長）
5. 『成人期における「居場所」づくりの必要性－引きこもり家族会の取り組みから－』
田中敦氏（全国引きこもり KHJ 親の会家族会連合会北海道「はまなす」事務局長）
6. 『精神障害者当事者活動の地域における定着と課題
－北海道浦河町「べてるの家」の関係者・町民への聞き取り調査から－』
種田綾乃氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科社会精神保健学分野 博士課程）
7. 『市町村合併に伴う社会福祉協議会合併の現状と課題
－北海道における社会福祉協議会合併に関する調査結果－』
白戸一秀氏（北海道社会福祉協議会次長）
原 正己氏（北海道社会福祉協議会地域福祉部地域福祉課長）

研究報告

1. 『積雪寒冷地における高齢者・障害者等の自立移動システムに関する研究』
齊藤徹氏（北翔大学人間福祉学部）
佐藤克之氏（北翔大学人間福祉学部）
小室晴陽氏（北翔大学生涯学習システム学部）
2. 『在宅ホスピス対応型集合住宅での生活支援に関わる保健・医療・福祉の連携』
寺井めぐみ氏（東札幌病院）
清永久子氏（札幌市立病院）
北村久美子氏（旭川医科大学医学部看護学科）

▼北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究」執筆要項▼

1. 本誌に発表する論文等は、いずれも他に未発表のものに限る。
2. 論文は図表文含めて16,000字（400字原稿用紙40枚）以内とする。
図表は、便宜上、一葉400字とする。写真を使用する場合は、モノクロを原則とし、手札サイズ（8×10）以上の紙焼とする。
3. 書評及び文献紹介は依頼原稿とし、800字から6,000字（400字原稿用紙2枚から15枚）程度の範囲で編集委員会が依頼する際に指定する。
4. 研究ノート・その他には、研究上の問題提起、内外の動向、研究プロジェクトの経過報告、他の著書・論文への批判・反論を含み8,000字（400字原稿用紙20枚）以内とする。
5. 原稿は、横書きとし、A4判用紙に40字×40行で印字したパソコン（ワープロ）原稿が望ましい。パソコン（ワープロ）原稿は、原稿作成に使用したパソコン（ワープロ）の機種を明記して、記録媒体もあわせて添付すること。できれば、MS-Word形式でのファイルが望ましい。なお、記録媒体は、返却しない。
6. 文体は口語調の「である」調、文字は新かなづかい、当用漢字を原則とする。
7. 論文の構成は、タイトル、執筆者名、本文、注、文献の順とする。
8. 本文中の見出しは、以下のように統一する。
「1. 2. 3.」は「章」に相当
「(1) (2) (3)」は「節」に相当
「・・・」は「項」に相当
9. 本文中の注番号は、該当箇所の右肩に1) 2) 3) …で表示する。
10. 引用文献は、本文の該当箇所に[執筆者名（姓のみ、共著・編者の場合は1名のみ掲載して「〇〇他」とする）、西暦発行年：引用ページ]を示し、タイトル等は後の「文献」のところに一括して表示する。
＜例＞ [山田、1990：22] [Bledy, 1992：1-25]
11. 「文献」は、本文中の引用順に、次のことを表示する。
 - 1 著者名（外国人の場合も性を最初に）
 - 2 タイトル
 - 3 掲載誌名（通巻番号）
 - 4 掲載ページ
 - 5 出版社名
 - 6 西暦発行年
12. 図表番号は、「図-1」「表-1」のように示し、それぞれ通し番号とする。
13. 図のタイトルは図の下部に、表のタイトルは表の上部につける。
14. 図表を他の著作物から引用する場合には、出典を図表の下に明記し、必要に応じて原著者又は著作権所有者からの使用許可を得ておくこと。
15. 図表には一葉ごとに台紙に貼り、それぞれの挿入箇所は原稿の左余白に赤字で指示する。
16. 原稿には表紙を付け、タイトル・執筆者名・執筆者肩書・連絡先（住所と電話番号・FAX番号）を記入する。
17. 文末に論文のキーワードを5語以内でいれる。